

令和元年度 基本評価調書

施策名	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備	所管部局	企業局	作成責任者	企業局長 岸 純太郎	施策コード	10 - 02
		照会先	工業用水道課経営企画G (内32-782)	関係課	工業用水道課、総務課		

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標
	2	産業・経済	(2)	本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造	C	本道の立地優位性を活かした企業誘致の推進	企業立地件数
北海道創生総合戦略		北海道強靱化計画	B4311		知事公約		
特定分野別計画等	北海道企業局経営計画、北海道工業用水道事業経営健全化計画						

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・道営工業用水道事業は、産業立地条件の整備の一環として低廉・豊富な工業用水の安定的な供給を行い、本道経済の発展に資することを経営の基本とし、室蘭地区工業用水道、苫小牧地区工業用水道、石狩湾新港地域工業用水道の3地区で営業している。</p> <p>・各工水の契約率(契約水量/給水能力)は、室蘭工水93.7%、苫小牧工水72.6%、石狩工水27.5%(H31(2019)4.1現在)となっており、平成27年(2015年)3月に策定した「北海道工業用水道事業経営健全化計画」(H27(2015)～R元(2019))に基づき、安定供給による経営基盤の更なる強化を図るため、石狩湾新港地域を重点とした需要の拡大に取り組むこととしている。</p>	施策目標	<p>・主に石狩湾新港地域における新たな受水企業の獲得や既存受水企業の更なる契約水量の増加に努め、豊富で低廉な工業用水の安定供給による企業立地環境の整備を図る。</p>
-------	---	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
	2(2)C	【経営健全化計画に基づく運営管理】 [道]営業資金不足額等に対する一般会計繰入金(長期借入金、補助金、出資金)による事業運営。				H29
2(2)C	【北海道強靱化計画の推進】 [道]工業用水道施設の耐震化や計画的な老朽化対策を促進。 ※現在、室蘭地区(H23(2011)～R元(2019))及び苫小牧地区(H29(2017)～R7(2025))において配水管改修事業を実施するとともに、幌別ダム(R元(2019)～R8(2026))のゲート等改修事業を実施。 [国]工業用水道事業費補助金				H30	2,962,931
					R1	4,053,080

		政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
今年度の取組	2(2)C		<p>【経営健全化計画に基づく運営管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎給水区域内の遊休地所有者や配水管沿線土地取得者等に対する営業活動(R元～) ◎給水区域内における建築確認申請書類を活用した営業活動(R元～) ◎「(仮)工業用水道カード」の作成・配布(R元～) ◎「工業用水道事業経営懇談会」及び「工業用水需要開拓促進連絡会議」の開催 →石狩工水の需要開拓など経営改善方策等の意見聴取・情報交換 ◎工業用水の利用等に関心のある企業等を対象とした「施設見学会」を開催 ◎産業振興イベント等への出展による工水PR(パンフレット・PRグッズ配布) →「北洋銀行ものづくりテクノフェア」、「ビジネスEXPO」「メッセナゴヤ」「企業立地フェア」等に出展・参加 ◎新聞紙面や広報紙「工水だより」を活用したPR ◎室蘭工水「幌別ダム」の『ダムカード』(H27(2015).3～)の配布 ◎HP・道庁ブログ・Facebook等を活用した道営工業用水道事業の情報発信 ○経費削減の取組 ・企業債の借入に当たって、資産の供用開始に合わせて償還が始まるよう、地区ごとに借入を分割し据置期間を設定することで利息の低減を図る ・施設管理業務において引き続き4年間の複数年契約(長期継続契約)による施設管理業務委託を導入し、経営の効率化を図る(室蘭工水) 		
	2(2)C		<p>【北海道強靱化計画の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「室蘭地区工業用水道第三期改修事業(配水管布設)」(H23(2011)～R元(2019))、 「苫小牧地区工業用水道第二期改修事業(配水管布設)」(H29(2017)～R7(2025))、「室蘭地区工業用水道第四期改修事業(ダムゲート等改修)」(R元(2019)～R8(2026))を実施 		

前年度付加意見への対応状況(平成31年3月末時点)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	事務事業 整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
施策 事務事業				

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	事務事業 整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
事務事業				

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			備考
		北海道 創生総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約	
2(2)C	<p>【経営健全化計画に基づく運営管理】 (企業訪問等による営業活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> 配水管沿線の土地登記の異動状況を把握し、転売先の所有者にDMを送付 遊休地所有者や配水管沿線土地取得者に対し、工業用水のコスト面でのメリット等をアピールするため、ケースに応じた上水道からの転換・増量シミュレーションを提示 		B4311		
2(2)C	<p>(情報収集)</p> <ul style="list-style-type: none"> 石狩工水の需要開拓など経営改善方策等の意見聴取・情報交換を行うため、「北海道企業局工業用水道事業経営懇談会」(H31.3.11及びR1.8.6)及び「工業用水需要開拓促進連絡会議」(R1.6.13)を開催。 また、工業用水道を道民の皆様によく知って貰うことを目的とし、受水企業の製品や工業用水道の活用方法などを紹介する「企業局展」(R1.8.1-2)を開催予定。 		B4311		
2(2)C	<p>(広報・PR)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道営工業用水道をPRL需要の拡大に繋げるため、工業用水の利用等に関心のある企業、企業誘致担当部署、受水企業の担当者等を対象とした主催イベント「施設見学会」を、石狩工水において開催予定(R1.9) 主催イベントでは、新聞紙面(R1.9)などを活用した効果的なPRを実施予定 各種イベント出展等の前後には、「北海道企業局・工業用水道Facebook」などを活用した広報活動を実施。 道民理解を促進するため、室蘭工水ではダム管理事務所来所者に対し「幌別ダムカード」を配布、苫小牧工水では新たに「工業用水道カード」を配布予定。 		B4311		
2(2)C	<p>(関係機関との連携による企業誘致活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道内の産業振興イベント「北洋銀行ものづくりテクノフェア」(R1.7.25)へ出展し、営業活動を実施。 企業誘致活動を推進を推進するため、関係機関と連携しつつ道外の企業誘致イベント「企業立地フェア」(H31.5)へ参加、「メッセナゴヤ」(名古屋市：R1.11)に参加予定 		B4311		
2(2)C	<p>【経費削減の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 借入利息を低減するため、資産の供用開始に合わせ償還が始まるよう、地区ごとに企業債据置期間を設定 施設管理業務において引き続き4年間の複数年契約(長期継続契約)による施設管理業務委託を導入 		B4311		
2(2)C	<p>【北海道強靱化計画の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道強靱化計画に登載している工業用水道施設の耐震化や老朽化更新を促進するため「室蘭地区工業用水道第三期改修事業(配水管布設)」(H23(2011)～R元(2019))、「苫小牧地区工業用水道第二期改修事業(配水管布設)」(H29(2017)～R7(2025))、「室蘭地区工業用水道第四期改修事業(ダムゲート等改修)」(R元(2019)～R8(2026))を実施している。 		B4311		

(2) その他の取組の成果等

国等要望・提案状況	R2年度国の予算編成に際し、工業用水道事業の経営基盤の確立に向けた効果的な対策を強力に推進するよう、日本工業用水道協会とともに国に要望を行い(7/26)、施策の推進を図っている	施策に関する道民ニーズ	
-----------	--	-------------	--

令和元年度 基本評価調書

施策名	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備	施策コード	10 - 02
-----	-----------------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
2(2)C	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備に寄与するため、主に石狩湾新港地域における水需要の拡大に関して、企業誘致情報の共有を図ることを目的に経済部と連携	0509	経済部産業振興局産業振興課	企業局のほか、経済部及び関係機関で構成する「工業用水需要開拓促進連絡会議」(R1.6)を開催し、企業誘致に関する情報の共有を図りながら、工水需要の拡大に努めている。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果

令和元年度 基本評価調書

施策名	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備	施策コード	10 - 02
-----	-----------------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定 (H:平成 R:令和、大文字は年度、小文字は暦年) 3-2 成果指標の達成度合

主① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H22~H26	年度	R1	最終年度	H28~R7					
企業立地件数	基準年度	H22~H26	年度	R1	最終年度	H28~R7	達成度合	A	評価年度	H30	企業立地件数は、リーマンショック後、大幅に減少したものの、その後、平成21年度の44件を底に、回復傾向が堅調で、平成30年度は、102件となった。
	基準値	355	目標値	78	最終目標値	780	年度	H30	R1	進捗率	
[指標の説明] 道内での企業立地(設置及び増設)の件数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	78	78	780	進捗率は平成28年度以降の累計値
	北海道総合計画		2(2)C	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	102	-	308	
							達成率	130.8%	-	39.5%	
他① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
契約率 (室蘭地区工業用水道)	基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R1					
	基準値	93.7	目標値	93.7	最終目標値	93.7	年度	H30	R1	進捗率	室蘭地区工業用水道の給水開始時に比べ、社会情勢或いは産業構造の変化、更には水利用の効率化の進展等により、水需要・企業誘致の現状は厳しい状況にはあるが、様々な機会を通じたPR等を実施し、平成30年度の契約率は93.7%となった。
[指標の説明] 給水能力115,000m ³ /日に対する契約水量の割合	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	93.7	93.7	93.7	
	北海道工業用水道事業経営健全化計画		2(2)C	維持	(実績値/目標値)×100		実績値	93.7	-	93.7	
							達成率	100.0%	-	100.0%	
他② 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
契約率 (苫小牧地区工業用水道)	基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R1					
	基準値	70.6	目標値	72.7	最終目標値	72.7	年度	H30	R1	進捗率	苫小牧工業用水道の給水開始時に比べ、社会情勢或いは産業構造の変化、更には水利用の効率化の進展等により、水需要・企業誘致の現状は厳しい状況にあるが、様々な機会を通じたPR等を実施し、平成30年度の契約率は72.6%となった。
[指標の説明] 給水能力200,000m ³ /日に対する契約水量の割合	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	72.7	72.7	72.7	
	北海道工業用水道事業経営健全化計画		2(2)C	維持	(実績値/目標値)×100		実績値	72.6	-	72.6	
							達成率	99.9%	-	99.9%	

他③	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	C	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R1					
契約率 (石狩湾新港地域工業用水道)		基準年度	H26	年度	R1	最終年度	R1	年度	H30	R1	進捗率	経済部が平成26年度に見直した「石狩工水の年次別需要想定」(H26～H44)に基づく契約率を目標値としているが、産業構造の変化、更には水利用の効率化の進展等により、水需要・企業誘致の現状は厳しい状況にあり、達成率は81.4%にとどまった。
		基準値	24.0	目標値	37.2	最終目標値	37.2	目標値	33.3	37.2	37.2	
【指標の説明】 給水能力12,000m ³ /日に対する契約水量の割合	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	27.1	—	27.1		
	北海道工業用水道事業経営健全化計画		2(2)C	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	81.4%	—	72.8%		

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和元年度 基本評価調書

施策名	工業用水の安定供給による企業立地環境の整備	施策コード	10	—	02
-----	-----------------------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費(千円)	令和元年度					フルコスト(千円)
						事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			
								本庁	出先機関	人工計	
0301	2(2)C	室蘭地区工業用水道事業	室蘭地区工業用水道事業	工業用水道課	208,196	1,545,862	0	0	7.0	7.0	1,601,652
0302	2(2)C	苫小牧地区工業用水道事業	苫小牧地区工業用水道事業	工業用水道課	0	1,449,690	0	0	6.0	6.0	1,497,510
0303	2(2)C	石狩湾新港地域工業用水道事業	石狩湾新港地域工業用水道事業	工業用水道課	0	1,057,528	194,382	0	1.0	1.0	1,065,498
計					208,196	4,053,080	194,382	0.0	14.0	14.0	

令和元年度 基本評価調書

施策名		施策コード	—
-----	--	-------	---

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部署等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
2(2)C	2	1	1			C指標あり	<p><企業立地件数【A】> 企業誘致情報の共有により目標の達成に寄与した。</p> <p><契約率(室蘭工水【A】、苫小牧工水【B】、石狩工水【C】)> ・石狩工水では、需要開拓促進行動計画に基づき、受水企業の新規開拓等を実施したことでH30年度に300m³/日の契約水量の増があったものの、産業構造の変化、更には水利用の効率化の進展等により、水需要・企業誘致の現状は厳しい状況にあり、指標策定当時に目標としていた契約水量には達しなかった。今後も関係機関と一層連携を密にし、需要開拓に取り組み、契約率の増加を図る。</p>
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	2	1	1	0	0	C指標あり	
	4						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	工業用水道事業の経営健全化に取り組み、工業用水の安定供給を維持することによって、企業立地の環境整備に資する。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	R2年度国の予算編成に際し、工業用水道事業の経営基盤の確立に向けた効果的な対策を強力に推進するよう、日本工業水道協会とともに国に要望を行い、施策の推進を図っている。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか		
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	石狩工水の需要開拓について、経済部と情報交換の場を設けて取り組んでおり、受水企業の獲得についての成果を確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか		
判 定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価と対応方針等

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
C指標あり	a	

対応方針			関連する事務事業			関連する計画等		
対応方針番号	政策体系	内容	方向性	事務事業整理番号	事務事業名	北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	知事公約
①	2(2)C	・石狩工水では、需要開拓促進行動計画に基づき、受水企業の新規開拓等を実施したことでH30年度に300m ³ /日の契約水量の増があったものの、産業構造の変化、更には水利用の効率化の進展等により、水需要・企業誘致の現状は厳しい状況にあり、指標策定当時に目標としていた契約水量には達しなかった。今後も関係機関と一層連携を密にし、需要開拓に取り組み、契約率の増加を図る。	改善(指標分析)	0303	石狩湾新港地域工業用水道事業		B4311	

前年度付加意見への対応状況(事務事業)

事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(評価時点)

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<p><新たな取組等> 関係機関との連携を一層密にするため、経済部や石狩開発(株)など、企業誘致や土地分譲等の関係機関と構成する「工業用水需要開拓促進連絡会議」を毎年度開催しているほか、石狩湾新港地域内の配水管路に隣接する立地企業への営業活動を展開。また、受水企業を対象とした意見交換会を実施し、今後の事業展開について情報収集を行った。また、令和元年度に「北海道企業局工業用水道事業経営懇談会」を2回開催し、経営健全化や需要開拓方策等に関する多様な意見を収集するとともに、「北洋銀行ものづくりテクノフェア」や「メッセ名古屋」に出展し、関係機関も連携しながら、来場者や出展企業に営業活動を実施した。また、工業用水に関心のある企業や関係機関を対象とした、「施設見学会」を継続実施し、石狩湾新港地域に多く立地する食品加工業における工業用水の活用事例やメリットを説明したほか、「石狩新港地域立地企業交流会」に参加し、工業用水PRを実施した。一方、令和元年度からは「道の駅ウトナイ湖」で道内初となる苫小牧地区工水カードなどを配布するなど工水全体の情報発信にも積極的に取り組んでいる。</p>	改善:石狩湾新港地域工業用水道事業

(2) 二次評価結果への対応(付加意見への対応状況)

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果		1					1

次年度新規事業 (予定)
0

整理番号	事務事業名	一次政策評価における方向性(再掲)	次年度の方向性(反映結果)
0303	石狩湾新港地域工業用水道事業	改善	改善